

地域生き生きプロジェクト ～大坂ゼミ年間活動報告～

鶴が丘一丁目地区での活動

● 夏祭り参加

- ◆ セタコーナー
- ◆ アイスクリーム配布
- ◆ 子供向けゲームコーナー企画、実施



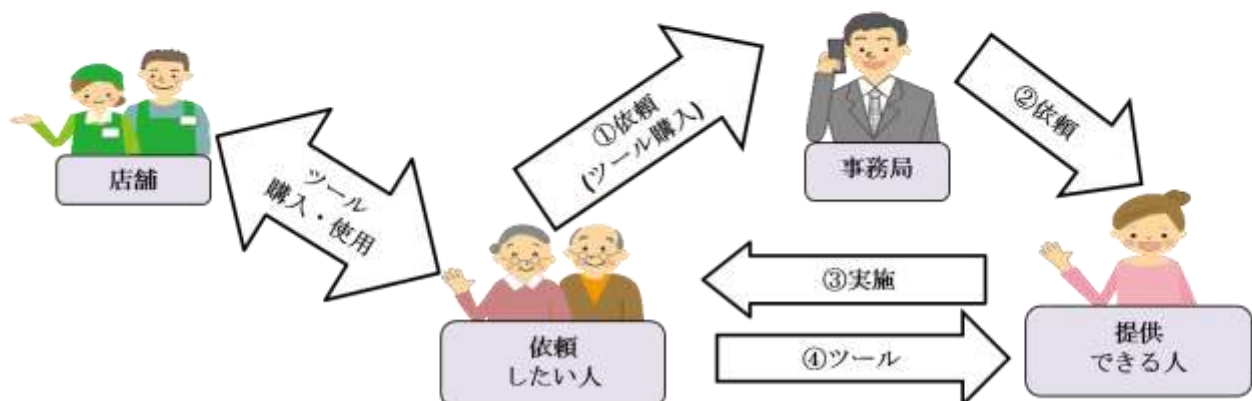
● やっぺえ体操撮影

- ◆ NHK仙台放送局が行っている体操
- ◆ 鶴が丘地区で分割して撮影
- ◆ 場所や踊ってもらう人は毎回変更
- ◆ 映像を繋げ、3月に上映会を開催



● はあとネット

- ◆ 事務局が「ボランティアを提供できる人」と「ボランティアを依頼したい人」を繋ぐ
- ◆ ボランティアの御礼は「ツール」
- ◆ 「ツール」は鶴が丘1丁目内にある店舗で使用できる



将監地区での活動

● 将監公団夏祭り参加

- ◆ 企画段階から参加
- ◆ 他大学サークルさんへの交渉
- ◆ 司会
- ◆ 受付
- ◆ 浴衣ファッションショー



● 元気っ子広場

- ◆ 毎年将監市民センター主催で開催されているイベント
- ◆ 地域の方々が各コーナーを設けて、参加者に回ってもらう
- ◆ 私達はプラバンコーナーとココア配布とストラックアウト、魚釣りゲームを担当



● 秋の〇〇祭 in 将監

- ◆ 大坂ゼミ主催のサロン
- ◆ 「〇〇の秋」にちなんだ、体験型ブースを複数個もうけ、地域の方々に回って楽しんでもらう
- ◆ 同時にスタンプラリーを開催し、出来るだけ多くのブースを回ってもらえるようにした



まとめ

- 地域との連携の難しさを学んだと同時に、大学生が地域で活動する事には意義があると感じた
- 2年生から同じメンバーで活動していたので、一致団結して活動を行う事ができたと思う。
- 実習を挟んでしまい、円滑に情報共有が出来ないことがあった
- 広報活動が不十分で人があまり集まらないイベントもあったので、広報活動に力を入れるべきだった